

湖南省の くらしの移動


～ 行きたい場所へ あたりまえに～




買い物 / 通院 / だれかに会いに行く
「くらしの移動」について話し合い、
そこから見えてきたことをまとめました。

1. 湖南省にある「くらしの移動」に関する

第1層地域支えあい推進会議(以下、推進会議といいます)では、はじめに、現在市内にある事業や取り組みを共有し、今後の方向性を考えるため情報を整理しました。


地域公共交通		行政・交通事業者
コミュニティバス	<p>通勤や通学、通院や買い物、公共施設の利用など、日常生活に必要な移動の基盤</p> <ul style="list-style-type: none"> ●めぐるくん (滋賀バス(株)が行政から補助を受け運営) 	 <p>▲バスを利用したおでかけ・買い物ツアーの様子(三雲)</p>
電車	<p>通勤・通学など、市外への移動や広域的な外出を支える交通手段</p> <ul style="list-style-type: none"> ●JR草津線(JR西日本が運営) 	
タクシー	<p>路線バスなどでは対応しにくい時間帯や場所への移動を担い、通院や買い物など、日常生活に必要な外出を支える交通手段</p> <ul style="list-style-type: none"> ●滋賀タクシー、BSSタクシー、サンキュータクシー 等 	


社会福祉法人・事業所による取り組み		介護・福祉事業所 社会福祉法人 等
福祉有償運送	<p>高齢者等を有償で送迎する福祉サービス制度</p> <ul style="list-style-type: none"> ●市内の社会福祉法人、NPO法人 等 	
介護タクシー	<p>介護が必要な人を安全に送迎する専門タクシー</p> <ul style="list-style-type: none"> ●市内の事業所 等 	
同行援護	<p>視覚障がいのある人の外出時に同行し、移動や目的地での行動を支援するサービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ●市内の社会福祉法人、NPO法人 等 ※右写真は実際のサービス利用の様子 	
移動販売車の誘致	<p>事業所の敷地を活用して、移動販売車を誘致する</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ぼだいじデイサービスセンター虹 等 	

る事業や取り組みについて

以下は、湖南省内で住民の移動を支えている取り組みの一例です。

※地域の資源を掲載している『支えあいお宝リスト』から抜粋

支えあい(有志のメンバー)による取り組み		ボランティアグループ 地域団体・住民有志 等
まちづくり協議会 による取り組み	<p>地域の高齢者を主な対象とした 付き添い・送迎を行う活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ささえあい活動 (水戸学区まちづくり協議会) ※右写真は実際の活動の様子 等 	
住民団体 による取り組み	<p>特定の高齢者を対象とした移動や生活を支える活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ●柑子袋区ボランティアタクシー (対象:区内高齢者) ●On送りの会 (対象:メンバーの知り合い) 等 	
湖南省ファミリー・ サポート・センター	<p>保育施設の送迎や一時的な預かりを市民会員が有償で行う地域で 子育てを支えあう仕組み 問い合わせ先:湖南省こども子育て応援課</p>	

企業・病院等による取り組み		企業・医療機関・商業施設 等
移動販売	<p>地域を巡回して食品や 日用品等を販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ●(株)橘とうふ しんざぶろう、 とくし丸、はじ丸、等 ※右写真は実際の販売時の様子 	
買い物代行	<p>会員制の買い物代行サービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ●平和堂石部店 等 	
食品等の配達	<p>電話・パソコン等で商品の注文・配達する仕組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ●生活協同組合コープ、ひがしら、ベイシア水口店 等 	
通院の送迎	<p>主に通院者を対象にした送迎サービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ●生田病院、ふじた医院、荒川クリニック 等 	

2. 湖南省市の「くらしの移動」を取り巻く

推進会議で話し合った内容をもとに、移動に関する市内の現状と、実際に住民から聞いた不安や困りごとの声を整理しました。中には、改善に向けた前向きなアイデアもありましたので紹介します。

70歳以上の方がもらえる
バス無料乗車券について
知られていないことがある

外出に付き添ってほしいけど
近くに頼れる人がいない

バス停と自宅の道中が不便
買い物したら荷物もあるし大変

運転免許返納後の
くらしが不安

バスが減便になって
予定が立てにくく
外出しづらい



「地域公共交通」に関するその他の声

コミュニティバスの減便・路線変更によって、多くの住民が不便を感じている。住民のくらしに合うようなダイヤや路線を検討してほしい。

予約制小型乗合タクシー「あいのりこなん」の廃止に伴い、不便さを訴える声がある。廃止理由の周知が不十分だったのではないかな。

バスが使いにくいので無料乗車券を利用する機会がない。民間のタクシー業者と連携して、タクシー乗車時でも利用できるようにしてほしい。

「社会福祉法人・事業所による取り組み」に関するその他の声

高齢者・障がい者施設などの事業所の車両活用は、保険や利用時間、運転手や付き添いをする人の確保の課題があり、話が前に進みにくい。

他市町で行われている福祉事業所の車両活用をはじめとした移動を軸にした事例を知る勉強会を行い、情報を得る機会があるとよい。

福祉事業所単独で取り組むときは、行政や地域と役割や責任を整理しながら、丁寧に検討する必要があるのではないかな。

状況 ～ 推進会議であがった地域の声 ～

移動や外出で困ったとき
どこに相談したらいいの？

近くで用事を済ませられる
お店などが減ってきている

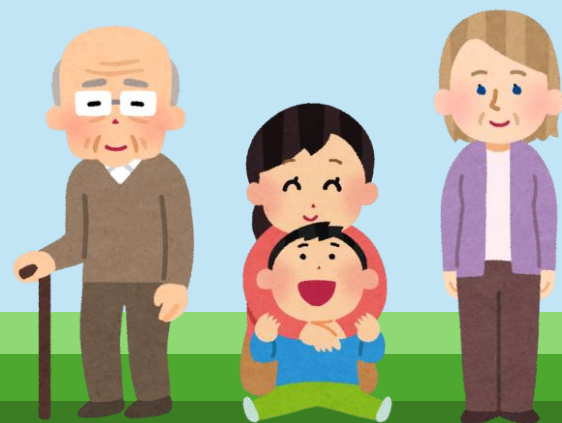
買い物や病院に行く
交通手段が少ない

送迎や付き添いをしてくれる
地域活動が広がるといいな

車イスやベビーカーだと
バスの乗り降りが大変

近所の人には気をつかうので
頼みにくい

使える制度やサービスが
もっと分かりやすいと助かる



「支えあい(有志のメンバー)による取り組み」に関するその他の声

移動に関する取り組みを新たにスタートするとき、法律や制度に関する知識が必要であり、それがひとつのハードルとなっている。

難しい届け出を必要としない
取り組み方法など、運営のための
情報共有が進めば、移動に
関する活動の発展につながる
可能性がある。

活動の立ち上げはもちろん、
活動を継続していくためには、
ドライバー、車両、その他経費
などの確保について考えてい
く必要がある。

「企業・病院等による取り組み」に関するその他の声

ここ数年で増えてきている移
動販売は、買い物に行きにく
かった住民の大きなくらしの
支えになっており、通いの場・
集いの場にもなっている。

病院やクリニックが行っている
患者さん送迎の取り組みにつ
いては、特に高齢者の受診回
数が多いので今後も増えて
いってほしい。

福祉関係者だけでなく、商工会
会員やタクシー会社など幅広
い人たちの意見が反映される
ようになってほしい。

3. まとめ ～湖南省の「くらしの移動」の

推進会議で出された意見や地域の声をふまえ、「くらしの移動」を支える人や組織を大きく4つに整理し、それぞれが現在担っている役割と、これからの関わりについて確認しました。

地域公共交通		行政・交通事業者
現在の役割	今後の関わり	
<ul style="list-style-type: none"> ● 制度や補助金により移動の仕組みを整える ● 日常生活に必要な移動を支える ● 交通政策として地域全体を見渡す 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域の声を制度や運行の見直しに生かす ● 利用しやすさや分かりやすさの工夫 ● 地域の状況に合った制度や支援の検討 	

社会福祉法人・事業所による取り組み		介護・福祉事業所 社会福祉法人 等
現在の役割	今後の関わり	
<ul style="list-style-type: none"> ● 利用者の通院や外出に伴う移動の支援 ● 生活全体を見据えた支援の中での対応 ● 専門的な視点からの助言 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域との情報共有や連携の工夫 ● 移動に関する課題の可視化 ● 支援の枠を超えた関わり方の検討 	

支えあい(有志のメンバー)による取り組み		ボランティアグループ 地域団体・住民有志 等
現在の役割	今後の関わり	
<ul style="list-style-type: none"> ● 地域のつながりを活かした身近な移動支援 ● 外出への不安を和らげる見守りや声かけ ● 個々の事情に応じた柔軟な対応 	<ul style="list-style-type: none"> ● 無理のない活動の継続 ● 担い手同士の情報共有 ● 地域の実情や声を伝える役割としての発信 	

企業・病院等による取り組み		企業・医療機関・商業施設 等
現在の役割	今後の関わり	
<ul style="list-style-type: none"> ● 送迎や立地特性を活かした取り組み ● 利用者や来訪者への配慮 ● 地域資源としての役割 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域課題への関心の共有 ● 無理のない範囲での関わりの継続 ● 他機関との情報交換 	

これからを考える～

おわりに ～「くらしの移動」を見つめて～

推進会議では、地域で感じていることや日々の実践、気づきを持ち寄り、湖南省市における「くらしの移動」について話し合ってきました。

その中で、地域にはさまざまな取り組みや工夫があり、それぞれが役割を担いながら日々の生活を支えていることを改めて確認しました。

一方で、支える側のかたちや関わり方は地域や人によって異なり、**ひとつの方法ですべてを支えられるものではない**ことも見えてきました。

だからこそ、今ある取り組みを大切にしながら、地域の状況に応じて、いま地域に求められているものや無理なくできることを話し合っていくことが大切です。

また、今回の報告では4つの視点から地域の取り組みや課題を整理しましたが、それぞれの分野が役割を担いながら関わり合うことで、地域のくらしは支えられていることも見えてきました。

これまでの話し合いを通して、**移動すること自体が「目的」ではなく、日々のくらしを支える大切な「手段」である**ということがあらためて見えてきました。

外出した先で誰と出会い、どのような時間を過ごすのか。そうした一つひとつが、その人らしいくらしを続けていくことにつながっています。

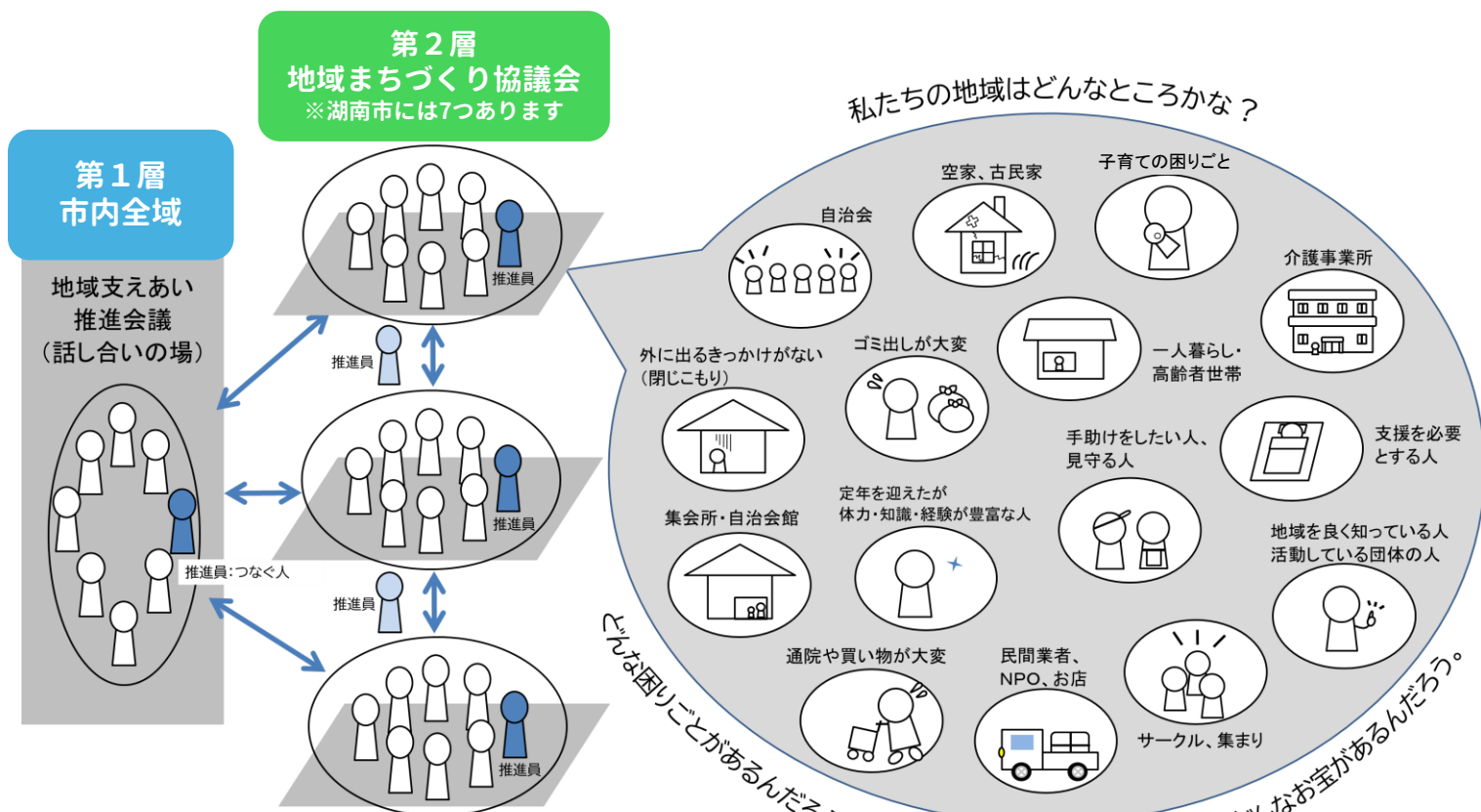
目的地へ行くことだけでなく、その先にあるくらしや人との関わりに目を向けながら、地域全体で考えていくことが求められます。

これからも地域のみなさんとともに**湖南省市の「くらしの移動」**について、小さな話し合いや取り組みを重ね、次の一歩へとつなげていきます。



移動販売でお買い物 → そのあとみんなで井戸端会議（岩根花園区）

湖南省ではこの図のようなかたちで 地域の支えあいについて話し合いを進めています



※推進員・・・地域支えあい推進員
第1層・第2層ごとに配置されています。

令和8年4月発行

作成 湖南省第1層地域支えあい推進会議

～この冊子に関するお問い合わせはこちら～

事務局 社会福祉法人 湖南省社会福祉協議会

☎ 0748-72-4102 ✉ konan-shakyo@rose.ocn.ne.jp